資料５

平成30年度指定管理業務評価票（案）の目標値設定について

平成30年度指定管理業務評価票（案）では、評価基準中の数値目標の設定について、昨年度の評価委員会での意見に基づき、以下のとおりとする。

１．目標値の設定について

（１）考え方

　　・　当初の指定管理者募集時の提案書もしくは業務水準書に記載している数値（以下、「提案書の数値」という。）を基本とする。

・　但し、過去２年の実績が提案書の数値からかい離している項目（実績の数値が提案書の数値の80％未満もしくは120％以上の場合）については、実績をベースにした目標値を設定する。

（２）具体的な設定

|  |
| --- |
| 提案書の数値があるもの |
|  | ① | 28年度・29年度実績のいずれも提案書の数値とかい離していないもの | 提案書の数値を目標値とする。 |
| ② | 28年度・29年度実績のいずれかが提案書の数値の120％以上 | 28年度・29年度実績の平均÷0.95 |
| ③ | 28年度・29年度実績のいずれかが提案書の数値の80％未満 | 28年度・29年度実績の平均÷0.8（但し、計算の結果、提案書の数値を上回る場合は提案書の数値とする） |
| ④ | 提案書の数値がないもの | 28年度・29年度実績の平均÷0.95 |
| 例外的な取扱をするもの |
|  | ⑤ | 中之島図書館ＳＮＳ発信回数 | 昨年度実績数値を採用（241回）理由：29年度実績の量より質を重視した更新頻度を継続してもらうため |
| ⑥ | 中之島図書館ＳＮＳフォロワー数 | ６０人増加（4月16日時点510人）理由：新規項目で過去の年度の実績がないため、月５人増加を目標 |
| ⑦ | 中央図書館指定事業数 | 30年度事業計画数値（14回）理由：実施内容を指定された事業を実施するため、計画の回数以上の実施が不可能。 |

２．目標値の計算方法の考え方について

（１）上記②④　28年度・29年度実績の平均÷0.95

　⇒　　　30年度実績が、28年度・29年度実績の平均と同等だった場合、

下記参考にある目標達成度から逆算して、評価点が３点となるように目標値を設定。

（２）　上記③　28年度・29年度実績の平均÷0.8

（但し、計算の結果、提案書の数値を上回る場合は提案書の数値とする）

　⇒　　　30年度実績が、28年度・29年度実績の平均を下回った場合、

下記参考にある目標達成度から逆算して、評価点が最低評価である１点となるように目標値を設定。

《参考（評価票の2枚目下部分より抜粋）》

※評価基準に具体的な数値が設定されているものについて

　①目標値が設定されているもの

　目標値の達成度が【120％以上…4/目標値の95％以上120％未満…3/80％以上95％未満…2/80％未満…1】

（回数・人数・金額が目標値になっているものは、実績・目標値ともに平均値を算出して評価する）

とし、点数の平均を計算し、

平均得点が【4～3.5…S　/　3.4～2.5…A　 /　2.4～1.5…B　 /　1.4～1 …C 】として評価を決定する。

評価はS（優良）、A（良好）、B（ほぼ良好）、C（要改善）の4段階評価とする。